



## 流行

柴田トヨ

世界のどこかで  
今も戦争が起こってい  
る

日本のどこかで  
いじめも起きている

やさしさの

インフルエンザが

流行しないかしら

思いやりの症状が

まんえんすればいい



百歳のトヨさんにやさしさのインフルエンザの  
菌をまきちらしてもらいたいです。(松野芳子)

## Index

- APIS とびらのうた (松野芳子) 1
- APIS 巻頭言 (恵美) 2
- APIS 第22回 APIS 理事会報告、京都市委託事業 生きている図書館のお知らせ (事務局) 3
- CAP うつぶ幼稚園ワークショップ報告(後藤真幸、山田悦子) 4
- APIS 講師派遣「子どもへの暴力について考えよう」(野中ひとみ) 5
- APIS CCJ 研修報告(大川)、大阪ダルク感謝の集い参加報告(野中ひとみ) 6
- APIS Exciting インド!!(大麻淑子) 7
- APIS 活動記録、infomation 8

## 「子どもへの暴力について考えよう」

2012年12月18日大正区コミュニティセンター

講師:朴 宗筍、アシスタント:野中ひとみ



大正区市民協働課から、地域の問題を積極的に話し合える地域作りを目指して、大正区校下人権啓発推進のための合同研修会「子どもへの暴力について考えよう」というテーマで講師依頼をいただきました。

12月18日に地域全体の大人を対象とした基礎編を実施しました。

まず、「子ども」について考えてもらおうと、簡単な質問に答えていただいた後、子どもの人権と大人の人権は違うのか？大人と子どもとでは何が違うのか？大人の役割と子どもの役割について等お話をしました。

次に、子どもへの暴力を考える前に、暴力とはどういうものか？子どもはどんな暴力に合いやすいか？をお話をしました。

最後に、子どもの話を聴くためのロールプレイをして実際に練習してもらいました。

大人は子どもより経験がある分、能力は高くコミュニケーション能力も高いです。大人が子どもの目線に合わせて、子どもの話をしっかり聴き、子どもがわかりやすく話すことが大事だという内容が特に役に立つと好評をいただきました。

1月には、中学校下別人権啓発のための合同研修会として4回、実践編を開催する予定です。

(野中ひとみ)



### 【参加者アンケート】

- 子どもと話をする時に、聴き手がとても大切だということがわかりました。これから自分が子どもと話をする時も決めつけず、しっかり説明もはぶかず話を聴こうと思います。
- 大人も子どもも人間として尊重するということが理解できました。
- 相談される時は誰かの支えになるような聴き方をします。
- 実際にペアになってロールプレイでやってみると、状況や気持ちがよくわかり良かったです。
- 子どもと大人は理解度が違うので対応の仕方を考えたいです。
- 子どもとの対話や会話で聴くことの大切さ、声かけ、目線、意見を尊重して聴くことを意識することを心がけたいです。